

## 建築計画 (Architectural Planning )

担当教員名	坂戸 省三、寺岡 宏治、徳岡 浩二	
学科・専攻, 科目詳細	建築学科 4年 後期 1単位 演習	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	専門工学科目 専門応用系	
学習・教育目標	共生システム工学	D-3(30%) E-1(25%) H-1(45%)
	JABEE基準1(1)	(d)(f)(g)
科目の概要	本講義は、学校建築、病院建築、住宅等々の建築計画学における各論を中心とする。それらに関して、学生がグループをつくり、建築学科学生として知っておくべき基本的知識を調べ、報告書を提出し、授業で発表する方式で授業を進めてゆく(計12回)。学生発表時には坂戸が補足、解説をおこなう。また建築設計の第一線で活躍する建築家である2人の非常勤講師は、建築設計業務の実際について講義する。	
テキスト(参考文献)	柳澤忠監修:「設計力を育てる建築計画100選」、共立出版	
履修上の注意	発表の2週間前に発表用レジメの原稿修正の指示を受け、1週間前には確認を受けること。発表に際しては、パワーポイントを有効に使うこと。報告書は一人当たりA4、7から8枚は書くこと。	
科目の達成目標	<p>居住施設(独立住宅や集合住宅)の計画について説明できる。</p> <p>教育や福祉系の施設(幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校など)の計画について説明できる。</p> <p>文化・交流系の施設(美術館、博物館、図書館など)の計画について説明できる。</p> <p>医療・業務系施設(病院、オフィスビル、庁舎、オーディトリウム、宿泊施設など)の計画について説明できる。</p> <p>発表に関して、多くの資料を全体的に見渡し、要点をつかみ、何らかの視点から整理して簡潔に構成し直し、人に伝えることができる。</p>	
自己学習	<p>学生のグループ発表の準備として、まず基本的文献に目を通し、報告書の作業分担および構成を決める。分担に従って収集した資料を持ち寄り、報告書を作成し、さらに配布用レジメを作成する。発表2週間前には教員の指導を受け、発表内容、レジメを修正する。</p> <p>実例に関しては文献のみではなく、できる限り身近にある建築を実地調査する。</p>	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	グループ発表におけるレジメ20%、各人の報告書20%、各人の発表内容20%。期末試験40%。	
連絡先	sakato@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	<b>学校（グループ発表）</b> 基本事項。建築計画。実例。教室周りの豊かさ。小学校と地域の関係。運営方式とブロックプラン。
第2週	<b>医療、保険施設（グループ発表）</b> 基本事項。建築計画。実例。PPC。ナースステーションを中心とした病棟のモデル図。病室の計画。
第3週	<b>保育所、幼稚園（グループ発表）</b> 基本事項。建築計画。実例。育児の社会化。保育所のブロックプラン。
第4週	<b>住宅（グループ発表）</b> 基本事項。建築計画。実例。ライフステージと住宅。nLDKの普及経緯と問題点。家族像の変化。
第5週	<b>建築へのアプローチ03（寺岡講師）</b> 設計実務を通じた創造の方法など。
第6週	<b>集合住宅（グループ発表）</b> 基本事項。建築計画。実例。51Cの成立過程。住棟形態とアクセス方式。タウンハウスの可能性。
第7週	<b>住宅地計画（グループ発表）</b> 基本事項。建築計画。実例。住戸集合形態と密度。田園都市論と近隣住区理論。
第8週	<b>事務所、銀行、庁舎（グループ発表）</b> 基本事項。建築計画。実例。貸しオフィスビルの収益性と計画課題。オフィスレイアウトの計画。
第9週	<b>レクリエーション、スポーツ施設(グループ発表)</b> 基本事項、建築計画、実例。
第10週	<b>商業施設(グループ発表)</b> 基本事項、建築計画、実例。
第11週	<b>オーディトリウム(グループ発表)</b> 基本事項、建築計画、実例。プロセニウム形式。専用ホールと多目的ホール。
第12週	<b>終のすみかはどこにあるのだろうか？(徳岡講師)</b> 高齢者施設・住宅の計画と実例について
第13週	<b>宿泊施設(グループ発表)</b> 基本事項、建築計画、実例。ホテルの種類。
第14週	<b>博物館、美術館、図書館(グループ発表)</b> 基本事項、建築計画、実例。開かれた文化施設。新しい博物館。図書館の出納システム。公共図書館の中央館と分館の機能図。
第15週	<b>補足授業</b> 授業の補足、復習、質問等。
<b>期末試験</b>	